

# 厚生文教常任委員会会議録

- 1 日 時 令和6年7月31日(水)  
13時55分開会 16時09分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第1委員会室・清水町文化センター
- 3 出席議員 委員長：川上 均 副委員長：橋本晃明  
委 員：山本奈央、桜井崇裕、佐藤幸一、西山輝和  
議 長：山下清美
- 4 事務局 事務局長：大尾 智(欠席)、事務局次長：川口二郎
- 5 議 件  
(1) 所管事務調査について  
(2) その他
- 6 会議録 別紙のとおり

【開会 13 : 55】

(1) 所管事務調査について

【清水町学校経営研修会公聴】 13時55分～15時51分

【休憩・移動 15 : 51】

【再開 16 : 02】

委員長 (川上 均) : 只今より、厚生文教常任委員会を開催する。先ほど、所管事務調査として小中一貫教育も含めた教育行政について講演を聞いた中で、若干小中一貫教育最後の方に触れられたが、それらの内容について今後まとめていきたいと思う。もし皆さんの方からまとめについて何か盛り込んでいきたい項目等あれば、意見を出していただきたいと思う。よろしく願います。

桜井委員 : 今回で結審するわけではないのだから、所管事務調査で本州の視察研修もあるということであるので、また、本町の教育委員会の方向性もしっかり聴取した上で、最終報告に持っていったらいいのではないかと思う。

委員長 : 只今桜井委員より今後道外視察研修があるし、本町の部分ももう一度見極めた上で、最終報告をしてはどうかということであるが、橋本委員はいかがか。

橋本委員 : 今日の研修会では、これまでと違うという話の中だと思うけれども、ウェルビーイングとか、そういった観点も出ていたので、特に現状からそこへ持ってくるための小中一貫或いは小中連携というものが管内でも取り組まれているということと、関連性についてとか必要性について検討していくのが良いかなということと、桜井委員言われたように、地元の取り組みをもうちょっと詳しく聞きたいとか調べなければならないというところは今日のまとめかなと思う。

委員長 : 地元の取り組みを整理し調査してということ。山本委員いかがか。

山本委員 : 今日の研修では学校経営の充実についての話で、それが小中一貫にも繋がってくることだとは思いますが、現状について小中一貫に絞った内容ではなかったもので、先に言われたように、地元の清水町の現状についてと、これから道外研修もあるので、それで今のところは継続という形で進めてはどうかと思っている。

委員長 : 学校経営の関係はもちろん大事であるが、それをどうやって小中一貫に結びつけるかは今後見てということ。佐藤委員いかがか。

佐藤委員 : 只今3人の方のご意見に賛同する。小中一貫教育についてももう少し深くやって欲しいなという思いがあった。今回3人の言うとおりに、勉強しながら今後に向けてやっていただきたいと思います。

委員長 : 皆さんから只今出されたように、元に戻るが道外視察研修も含めて、あと本町の取り組みをもう少し詳しく調査して最終報告にまとめたいということであるので、そのような方向で進めてよろしいか。

(「はい」との声あり)

委員長：そのような形で今後進めて、最終的には12月の議会で報告するような、継続という形で進めたいと思うのでよろしくお願いします。次回であるが、日程については道外視察の前に教育委員会との調査を進めるという形で、どのような形で進めるかまだわからないが、いずれにしても日程を8月の盆過ぎに調整しながら進めたいと思うのでよろしくお願いします。以上をもって、本日の厚生文教常任委員会を終了する

【閉会 16:09】